



今日は「子ども大学よこはま」の第3回目の授業です。

「子ども大学よこはま」は1年間を学びの期間とし、はてな学・生き方・よこはま学を学びます。

2018年度子ども大学よこはま【第3回授業】

9月8日(土) 14:00~16:00 横浜市立大学カメラホール

【今日の予定】

<第3回授業>

「南極にもいる不思議な生き物」

講師：鈴木 忠(すずき あつし)先生  
(慶應義塾大学医学部生物学教室 准教授)



大昔の南極大陸には恐竜が歩いていました。しかし現在の南極大陸には、肉眼で見える大きさの陸上動物はいません。「え?ペンギンやアザラシは?」という声が聞こえますが、それら海洋動物は繁殖期(はんしょくき)に立ち寄りだけなのです。しかし、南極にも生えているコケの中からは微小な動物が見つかります。

第56次南極地域観測隊・夏隊(2014-2015)の陸上生物チームは、初の「南極クマムシ調査隊」でした。砕氷艦(さいひょうかん)「しらせ」による航海と野外調査の様子をまじえて、クマムシたちの生き方についてお話しします。

<今日の予定>

- 14:00 はじめのあいさつ
- 14:10 授業開始  
(とちゅう休けい 10分)
- 15:55 授業終了  
(アンケート記入)
- 16:00 全体終了

☆鈴木 忠(あつし)先生のご紹介

慶應義塾大学医学部生物学教室 准教授

1960年8月 愛知県生まれ

名古屋大学大学院(昆虫変態ホルモン研究)、浜松医科大学(糖脂質の構造研究)を経て

1991年より慶應義塾大学日吉キャンパス勤務

1998年 金沢大学大学院より博士(理学)(昆虫精子形成の組織化学的研究)

2000年以降クマムシ研究

2005-06年 コペンハーゲン大学動物学博物館(海産クマムシ卵形成の研究)

2006年8月 『クマムシ?!小さな怪物』(岩波書店)出版

2014-15年 第56次南極地域観測隊(夏隊)隊員

先生のご本(参考図書):『クマムシ?! ちいさな怪物』(岩波書店)

『クマムシを飼うには—生物学から始めるクマムシ研究』(地人書館)

